別記第１号様式

中堅教諭等資質向上研修評価書

 　　　　神戸大学附属幼稚園　教諭

 　研修教員氏名（　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| ※評価は、次の基準により４段階で行う。〈4 優れている ・ 3 よい ・ 2 もうすこし ・ 1 よくない〉※補足すること（得意分野としては伸ばすべき特に優れた指導力等を有する教科や分野等）については総合所見欄に記入する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評　価　項　目 | 評価 | 総合 |
| 教員としての基本資質 | ①教員としての高い倫理観をもっている。 |  |  |
| ②教員に必要な高度な知識・技術をもっている。 |  |
| ③職務遂行への意欲と責任感がある。 |  |
| ④組織の一員としての自覚をもち、他の教員との協調性がある。 |  |
| ⑤教員としての言葉遣いや心配りができる。 |  |
| ⑥常に人権を尊重する態度が見られる。 |  |
| ⑦保護者等とのコミュニケーション能力がある。 |  |
| ⑧地域の行事等に積極的に参加する。 |  |
| 幼児の指導等 | 計　　画 | ①園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を構造的に作成している。 |  |  |
| ②個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導のねらいや援助についての計画を作成している。 |  |
| ③日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに、教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。 |  |
| ④保育について副担任と十分に理解し合い指導計画を作成している。 |  |
|  | 環　境　の　設　定 | ①幼児の主体的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し、配置している。 |  |  |
| ②他学級との関係、自然環境、地域環境なども生かす保育の場の設定をしている。 |  |
| ③季節や１日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に生かすよう配慮している。 |  |
| ④個々の発達や興味関心、実際の活動にそって、的確に環境を再構築できる。 |  |
|  | 保育の方法・展開 | ①個々の幼児の特性を理解し、幼児同士の関係を的確に把握している。 |  |  |
| ②温かい態度で受け止めることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している。 |  |
| ③個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。 |  |
| ④幼児と共に活動することを心から楽しむことができる。 |  |
| ⑤幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている。 |  |
| ⑥活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している。 |  |
| ⑦個々に応じた適切な援助を行っている。 |  |
| 学級経営 | 学級経営 | ①個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている。 |  |  |
| ②施設設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である。 |  |
| 保護者への対応 | ①家庭との連携が緊密で、個々の幼児について入園前や、家庭での生活の様子も把握し、保育に生かしている。 |  |  |
| ②保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに、子育ての相談相手となっている。 |  |
| ③園での幼児の姿や保育について、学級だより等で知らせ、保護者の理解、協力を得ようと努力している。 |  |
| ④事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。 |  |
| 地域との連携 | ①機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう努力している。 |  |  |
| ②地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識を持っている。 |  |
| 園務 | ①園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。 |  |  |
| ②園の運営について自分のこととして常に考え、教員会議等においても建設的な発言をする。 |  |
| ③必要に応じて園長などにきちんと報告・連絡・相談を行う。 |  |
| 向上心 | ①自分の保育を子どもの姿等から自己点検し、また、助言等を受け止めながら保育者としての資質向上に努めている。 |  |  |
| ②実践上の課題や自分の考えをもって、園内研修に参加している。 |  |
| ③自主的に園外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている。 |  |
|  |
| 総　　　合　　　所　　　見 |
|  |

 作成日　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　作成者　 附属幼稚園長